

## 設立趣意書

21 世紀に入り、情報技術(IT=Information Technology)は急速な発展を遂げ、至るところで利用され、身近な存在となっています。今や IT は、人々の生活に欠かすことのできないテクノロジーとなりました。一方で我が国は、少子高齢化、デフレーション、膨大な財政赤字、社会的格差の拡大、甚大な自然災害など様々な困難に直面しており、世界全体をみても、安全保障対策、グローバル化に逆行する保護主義、貧困の撲滅、地球温暖化による気候変動、水・食料問題など、複合的課題を抱えています。

2015 年国連サミットにおいて、SDGs(Sustainable Development Goals)、即ち持続可能でよりよい世界を目指す 2030 年までの開発目標が採択されました。この SDGs では、「誰ひとり取り残さない(leave no one behind)持続可能な社会を実現する」と宣言しています。このような社会の実現には、IT の利活用は不可欠で、多岐にわたる知識と技術、さらに十分な経験が必要となり、それに相応しい人材を育成することがより重要となります。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(略称 CTC)は、企業理念の中で「明日を変える IT の可能性に挑み、夢のある豊かな社会の実現に貢献する」ことを使命として掲げています。2019 年 10 月 1 日、その使命を担い、学際的及び国際的な観点で物ごとを考え、行動できる次世代 IT 人材育成支援活動を行う『一般財団法人 CTC 未来財団』を設立いたしました。伊藤忠グループ各社では、近江商人の理念である「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)を実践しています。昨今、この理念を SDGs 同様、持続可能なものとしていく、言わば、「未来」を見据え「未来」につなげる活動をすることがより求められているのではないのでしょうか。その「未来」を先取りすると同時に、「未来」に思いを込め、当財団を『CTC 未来財団』と命名しました。「三方よし」に「未来よし」を加えた「四方よし」の理念の下、児童の IT への興味と柔軟な発想を育む教育支援、IT 技術を活用し世の中を変革しようという志の高い学生の修学支援、そして、障がいのある青少年が豊かな生活をおくれるよう修学・就労機会の創出支援を三本柱として活動して参ります。

今後、IT の役割と重要性はさらに高まることは間違いありません。『CTC 未来財団』の支援事業が、未来を明るく照らす優秀な IT 人材育成の一助となり、持続可能で誰ひとり取り残さない「夢のある豊かな社会の実現」にいささかなりとも貢献できればと願ってやみません。

2019 年 10 月 1 日